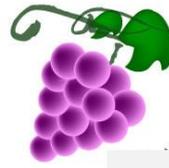




学校だより

お つ ひ



半田市立乙川東小学校
第5号
平成29年9月4日
発行責任者：真山 恵

校訓 「たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう」

9月1日に2学期が無事、スタートしました。朝から元気な子どもたちの声が学校中に響くのを聞いて、嬉しくなりました。久しぶりの教室で、担任や友達と笑顔で話し合う姿が多く見られました。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。2学期も、さまざまな場面で学校を支えていただきますようお願い申し上げます。

「合い&愛」を大切にして実りの2学期に！

みなさんはもう秋を見つけましたか？

(始業式の言葉より)



「秋」という漢字は、のぎへんに火と書きます。のぎへんは、稲の様子を表していますが、見ようによっては木に一枚葉っぱが乗っているようにも見えますね。秋にはいろいろな木の葉が赤や黄色に色付きます。校門の横のサクラの木の葉も、よく見ると少し色付き始めていますよ。

ところで、「〇〇の秋」とよく言われます。みなさんは、この中にどんな言葉を入れますか？ 食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・いろいろありますね。

その中で、今日は「実りの秋」の話をしていきます。リンゴや梨、ぶどうなどおいしい果物が実るのは秋ですね。1学期に5年生が田植えをしました。その稲もだんだんと実ってきました。サツマイモ畑の葉も沢山茂ってサツマイモが実ってきています。



実りの秋を迎えるのは、自然だけではなくありません。10月には、1学期からの学習の成果を発表する「いきいきフェスティバル」があります。1学期から目標に向かってクラスや自分が取り組んできたことを実らせて、満足できる発表にしたいですね。

でも、一人でがんばっているだけでは、大きな実を实らせることは難しいものですね。そこで、乙東っ子の全員で大きな実を实らせるために、2学期にぜひクラスや学年のみんなでがんばってほしいことがあります。それは、「2つの『あい』を大切にしよう」ということです。

まず、最初に大切にしてほしいのは、「合い」です。「学び合い・支え合い・関わり合い」他にも〇〇合いは沢山あります。共通することは、誰か他の人と一緒にすることですね。みんながいるからこそ、できることですね。では、この「合い」を大切にするとどうなるでしょう。

例えば、自分と考えの違う人と進んで学び合うことで、学びは広がったり深くなったりします。困ったときに支え合うことで、一人ではできないことができるようになります。いろいろな人とどんどん関わり合うことで、友達が増えます。つながりが生まれます。そして毎日が楽しくなります。

人と関わり合うことで心に生まれるものが「愛」です。愛という漢字をよく見ると、心を受けると見えてきます。人は愛を感じると笑顔になります。そして、愛を受け取ると「ありがとう」という言葉が響き合います。愛は目には見えませんが、笑顔は目に見えますし、「ありがとう」は耳に聞こえます。2学期は、「学び合い・支え合い・関わり合い」ができる場面を大切に、愛、笑顔と「ありがとう」がたくさん見つかるようみんなががんばっていきましょう。

5年生が野外教育活動に行ってきました

7月24日～26日の3日間、5年生が富山県南砺市平地区へ野外教育活動に出かけました。平地区での野外教育活動は、半田市と旧平村との交流事業の中で乙川東小学校と平小学校との交流の一環として、平成13年度から始まりました。「雪のおくりもの」とともに本校の大切な特色になっています。平成26年の3月に、平小学校が閉校になりましたが、乙川東地域ふれあい活動推進協議会と平行政センターの皆様のご理解とご協力をいただけて続けることができています。今年は雨で思うように活動できない部分もありましたが、平地区の皆様のご温かい思いやりに触れ、心から感謝の思いでいっぱいになりました。5年生にとって、一生忘れられない思い出と絆が育まれたことでしょう。活動の様子を紹介します。



イワナつかみをしました。炭火で焼いていただいたイワナは、とてもおいしかったです！



大雨のため、キャンプファイヤーは体育館で行いました。

紙漉きした和紙は、自分の卒業証書になります。



餅つき体験で、つきたてのもち餅とよもぎ餅をいただきました。



上平小の5年生と一緒に「ささら」を作り、こきりこ節を教わってもらって踊りました。



3日目には、世界遺産の合掌造りを見学しました